

第102期 中間株主通信

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



Evolution for Customers

— 全進で未来へ"シンカ" —

株主の皆様には日頃より当社へのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、先日、中間決算の発表をいたしました。株主の皆様には当社の状況、そして今後の見通し等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社ヒガシトゥエンティワン
取締役 代表執行役社長 児島 一裕

Q1 2024年3月期第2四半期の業績評価と今後の業績見通しについて教えてください。

業容拡大と収支構造改善に取組んだ結果、当第2四半期の業績は売上高195億円（前年同期比19.8%増）、経常利益12億6百万円（同25.1%増）と想定を大きく上回り、ともに過去最高を更新しました。上期予算超過達成に加え、下期も堅調な業績推移を見込んでいることから、売上・利益ともに過去最高を見込んでいた通期の業績予想を、今回更に上方修正いたします。

【2024年3月期第2四半期の業績評価】

増収の要因としては、大手EC向け大型3PLセンター（北大阪LC、鳴尾浜LC、流山ILC・流山IILC）の想定を上回る物流量、2022年10月に子会社化した株式会社旅人の新規連結開始、大手取引先のカatalog発送業務、首都圏におけるオフィス移転業務の拡大、大手コンビニ向けデジタルサイネージ（広告用ディスプレイ）

キitting業務の大口受注、その他既存顧客からの受注回復などが挙げられます。

また経常利益についても、大型3PLセンター開設に伴う、備品・什器・倉庫消耗品の購入等の投資費用や、成長事業への人材投資等が発生したものの、業容拡大や継続的な収支構造改善による損益分岐点の引き下げにより、大幅な増益となりました。

【今後の業績見通し】

2024年3月期第2四半期の業績発表に合わせ、通期の業績予想を上方修正しました。下期は大型3PLセンターの安定稼働に向けた人材投資に加え、その他の事業領域でも、更なる成長を支えるための車両投資や生産性を高めるためのマテハン投資等が予定されているものの、下半期は大型3PLセンターの当初想定を上回る物量が継続する見通しであることやオフィス移転事業の拡大基調の継続

などを見込んでおり、通期でも売上・利益ともに当初予算を大幅に超過する見通しです。

売上高については400億円（前年同期比14.9%増）、営業利益22億円（同15.3%増）、経常利益23億円（同13.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益14.4億円（同13.9%増）と、過去最高を見込んでいた前回発表から更なる増加を予想しています。



(百万円)

	2024年3月期連結業績予想		【ご参考】 2023年3月期実績
	金額	前期比	金額
売上高	40,000	14.9%増	34,807
営業利益	2,200	15.3%増	1,908
経常利益	2,300	13.5%増	2,026
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,445	13.9%増	1,268
1株当たり 当期純利益（円）	109.8	—	96.82

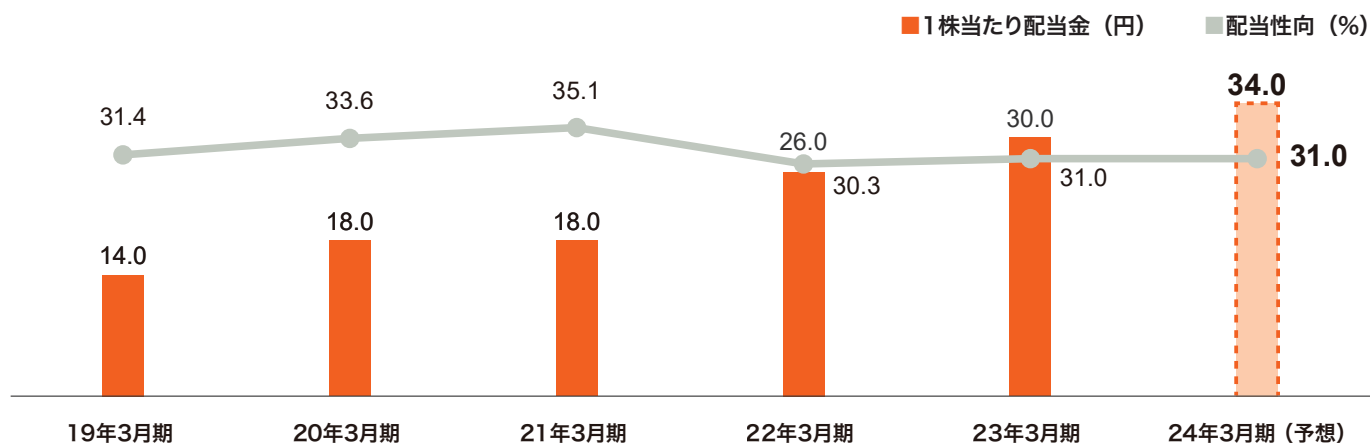
Q2 株主還元の方針について教えてください。

業績の上方修正に合わせ、期末配当を当初予想の32円から2円積み増し、34円とさせていただく予定です。

当社では、株主還元について長期的発展の礎となる財務体質の強化と、安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を連結配当性向30%以上を目安に還元する方針としています。

2024年3月期末配当予想を1株32円としておりましたが、今般の業績予想の上方修正に合わせ、当初予想から更に2円積み増し、34円とさせていただく予定です。

1株当たり配当金・配当性向の推移



Q3 2024年問題への対応について教えてください。

当社グループでは2024年問題への対応として、倉庫へのマテハン導入やデジタル技術の活用により、業務の効率化・省力化を進めています。またグループ各社の関係規程の見直しとともに、ドライバーの労働環境整備等にも取り組んでいます。

2024年問題ではトラックドライバーの時間外労働の上限規制に伴い輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されております。こうしたなか、当社では限られた時間・資源のなかで最大限業務効率性を高めていくことが最も重要と認識しており、物流業務の効率化・省力化に取り組んでいます。

具体的な取り組みをご紹介しますと、まず「効率的な輸送網構築の観点で、WMS（倉庫管理システム）やTMS（配車管理システム）を自社開発し活用する」「荷物の識別にカメレオンコードと呼ばれるカラーバーコードを活用して、セキュリティ向上とともに管理業務を効率化する」といったデジタルを活用した業務効率化に取り組んでおり、デジタル分野に積極的に投資をしております。また荷待ち時間

等の解消に向けてデジタル活用に加え、自動コンベアや自動ソーター（仕分け機）等の大型マテハンを、直近開設した大型3PLセンター（鳴尾浜LC、流山I LC・流山II LC）を中心に導入しています。

時間外労働の上限規制については、ヒガシトウエンティワンでは従来より取り組みを進めるなか既に基準をクリアした規程整備・労働時間管理を実施しております。また一部グループ会社では今年度中に法対応に即した規程等の整備に組み、労働環境整備等を進めてまいります。

引続きこうしたグループでの取り組みに加え、物流業界全体での取り組みや国の政策もフォローしながら、2024年問題に関する課題解決に向けた取り組みを迅速に進めてまいります。

Q4 中長期的な事業成長に向けた取り組みや考えについて教えてください。

中長期的な事業成長に向けた取り組みに関し、トピックスを2点ご紹介します。

【中部エリアでの新規倉庫の開設】

当社では、愛知県小牧市において2025年2月開設に向けて新規倉庫「小牧ロジスティクスセンター（仮称）」の建設を開始しています。本年度も4月に、大手e-コマース社向け新規3PL業務の受託に伴い「3センター・4拠点」を新規開設するなど積極的に倉庫面積を拡大してきておりますが、今後の更なる事業推進を見据えると、自社倉庫のキャパシティは成長の制約条件になると考えます。そうした認識のもと、今般新たに中部エリアでの倉庫開設を決定いたしました。

中部エリアでの開設の狙いは、首都圏・近畿圏と比べ物流施設のストックが低く、今後需要が高まると予想される点、また当エリアは2024年問題における長距離輸送問題への解決策として、関東・関西間の「中継拠点」としての需要も今後見込まれる点があります。小牧ロジスティクスセンター（仮称）は主要高速道路へのアクセスも良く、今後は当センターを中部エリアの基幹拠点として、首都圏への広域配送ニーズにも対応していきたいと考えています。

【従業員エンゲージメント調査の開始】

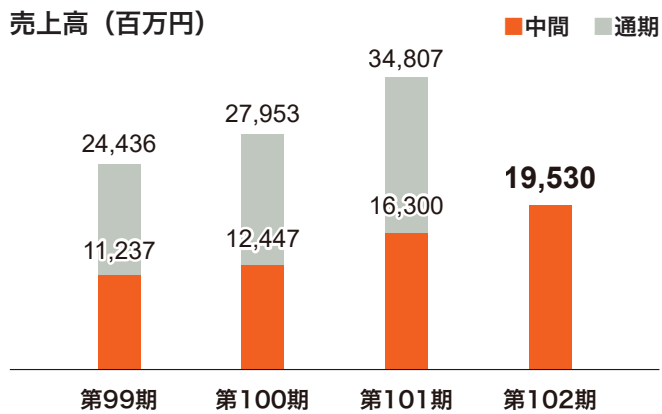
当社グループでは、人的資本価値向上に向けた取り組みの一環として、2023年8月に従業員エンゲージメント調査を実施しました。職場環境や働きがいといった金銭的価値以外の要素の体験が従業員のパフォーマンスやロイヤリティと相関するという研究成果や、人的資本開示指針の要請も踏まえ、今回初めて調査を実施したところです。グループ各社・各事業部別に回答結果の分析を進め、今後の取組を検討してまいります。

私は会社の成長には従業員がイキイキと活躍することが不可欠であり、そのポテンシャルを十分に発揮するには職場での心理的安全性の確保が重要だと考えています。10月に開催したグループ幹部会議ではマネジメント層に対してその重要性を伝え、各職場での具体的な取組を促しました。こうした取組もエンゲージメント向上に繋がるものと思います。

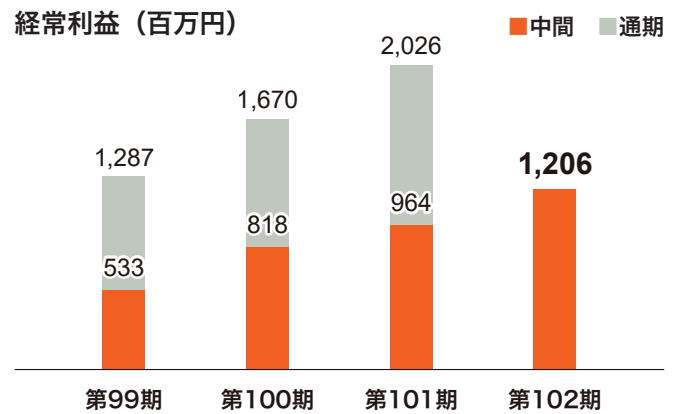
今後も当社グループでは従業員がそのポテンシャルを十分に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりに精力的に取り組むと考えています。

決算ハイライト

売上高 (百万円)

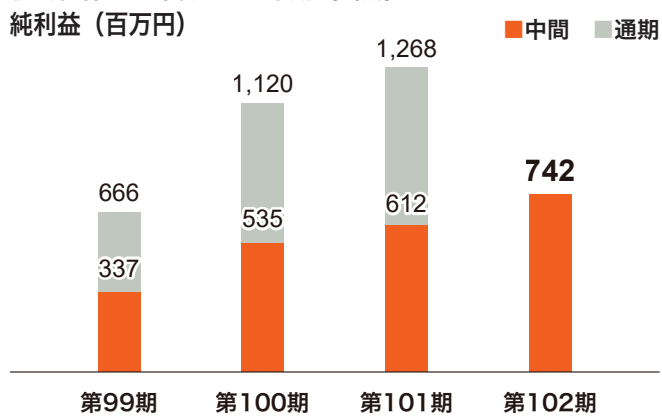


経常利益 (百万円)

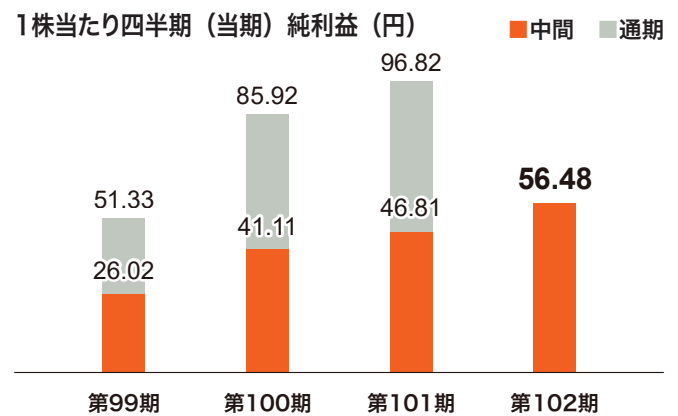


親会社株主に帰属する四半期 (当期)

純利益 (百万円)



1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)

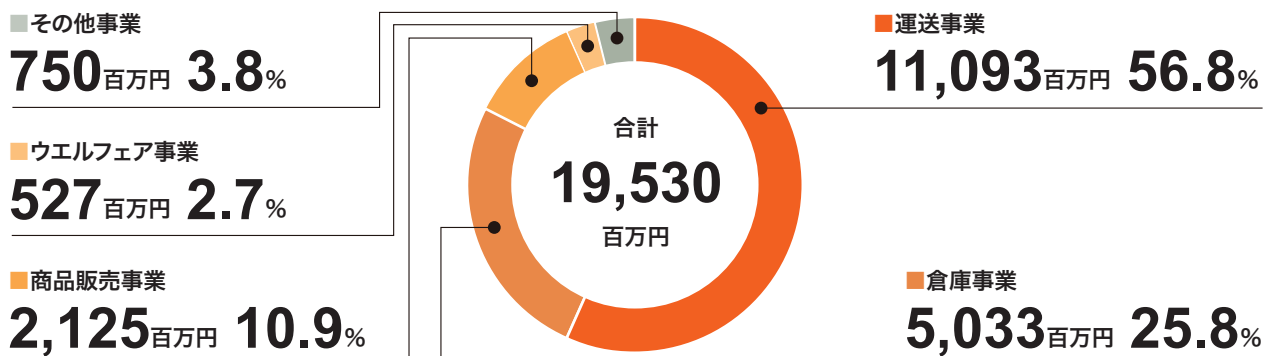


(注) 記載金額は、百万円未満切り捨てて表示しております。

事業の概況

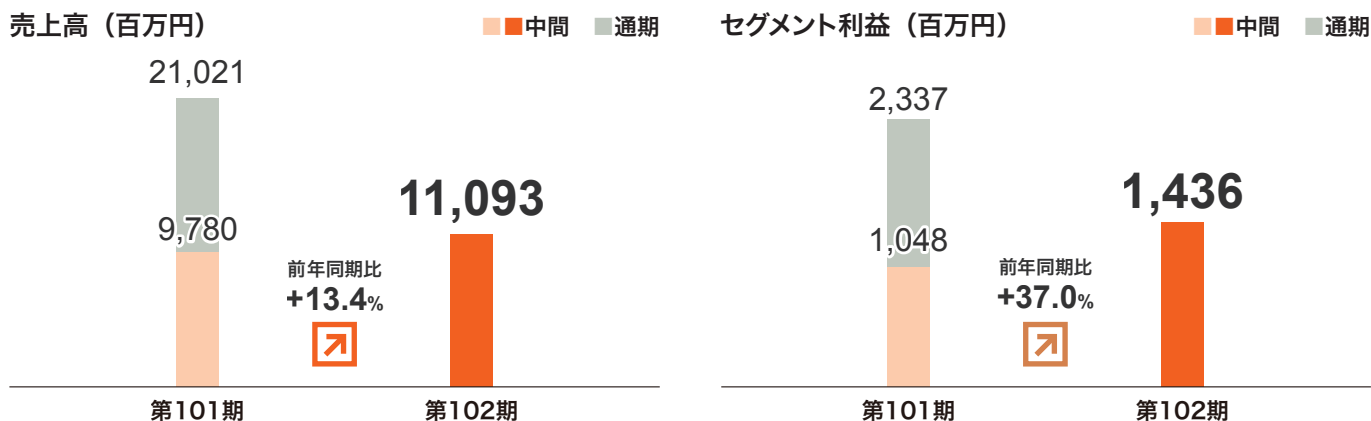


セグメント情報



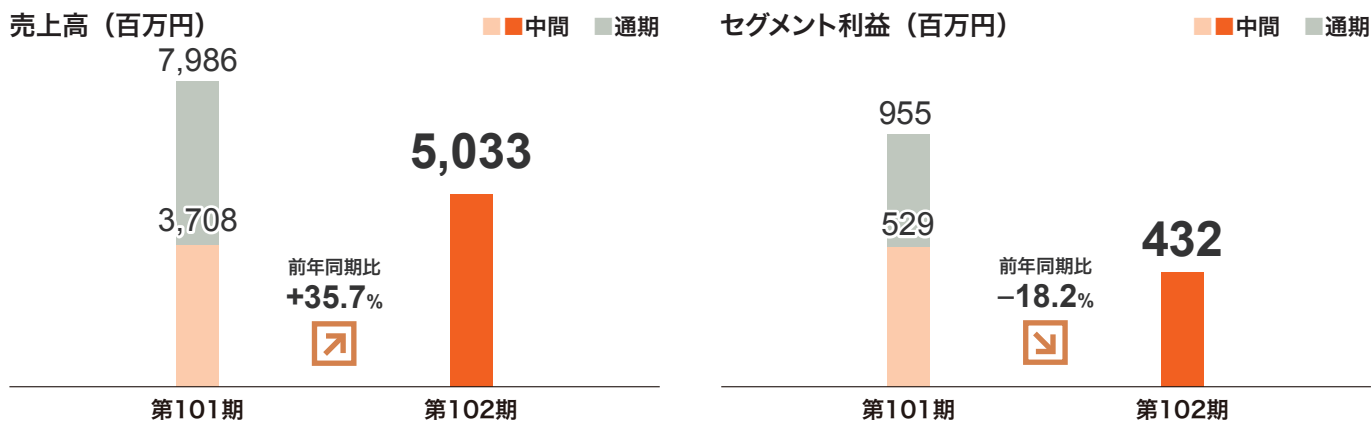
運輸事業

当事業につきましては、売上高は110億93百万円（前年同期比13.4%増）となり、セグメント利益は14億36百万円（同37.0%増）となりました。これは主に、オフィス移転事業が増加したことによるものです。



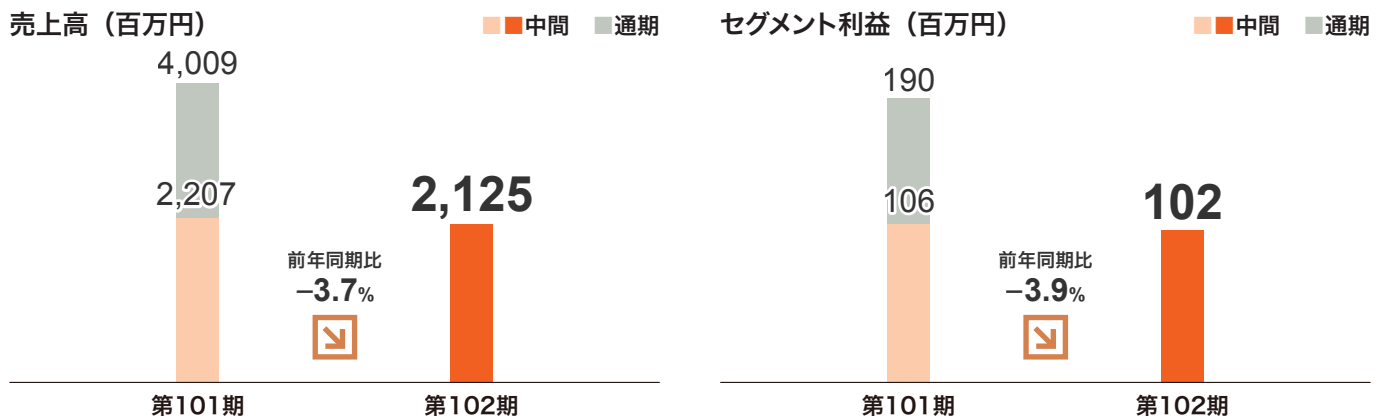
倉庫事業

当事業につきましては、売上高は50億33百万円（前年同期比35.7%増）となり、セグメント利益は4億32百万円（同18.2%減）となりました。これは主に、大手e-コマース向け業務の倉庫開設により売上が増加したものの、先行投資費用が発生したことにより、セグメント利益が減少したことによるものです。



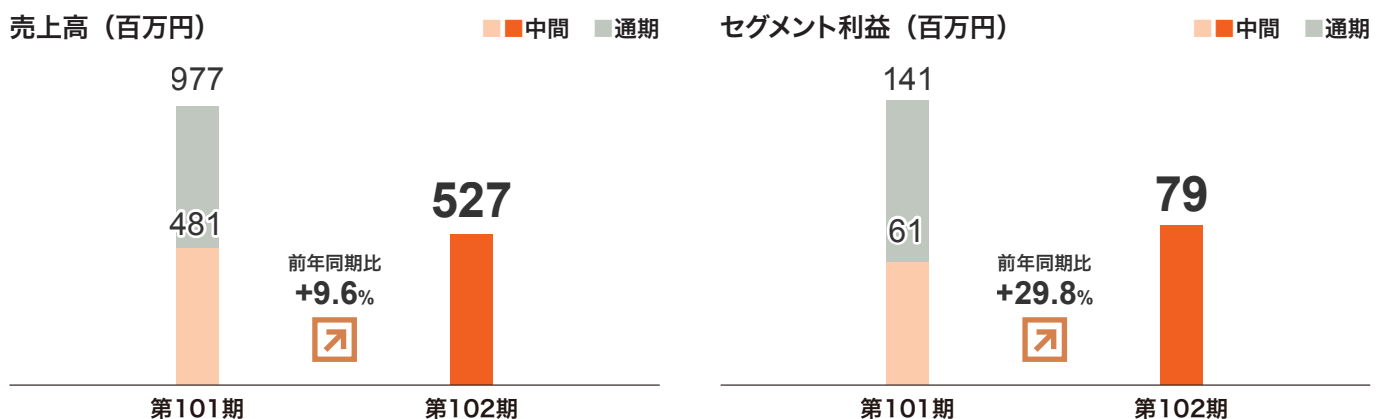
商品販売事業

当事業につきましては、売上高21億25百万円（前年同期比3.7%減）となり、セグメント利益は1億2百万円（同3.9%減）となりました。これは主に、大口得意先に対する資材販売業務が減少したことによるものです。



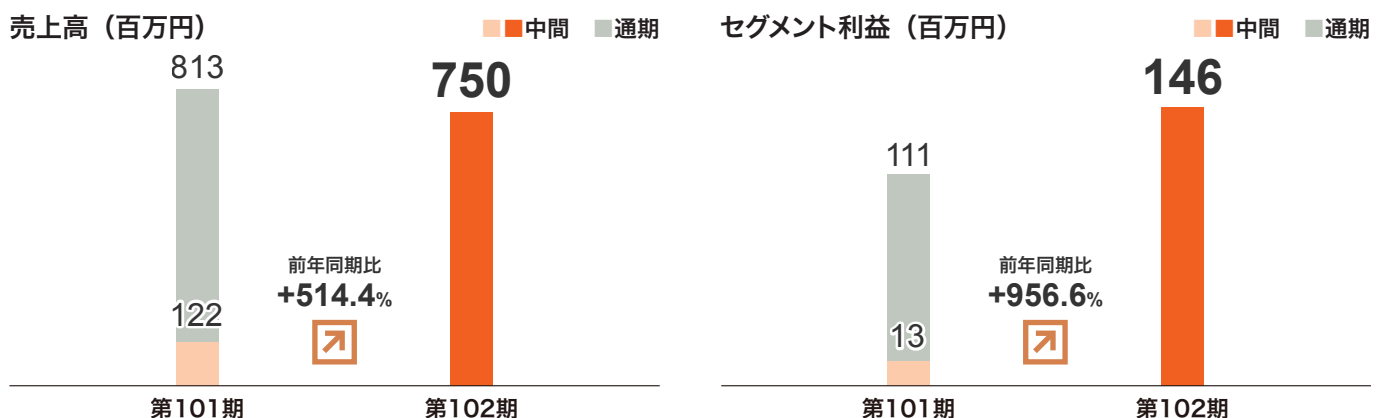
ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高5億27百万円（前年同期比9.6%増）となり、セグメント利益は79百万円（同29.8%増）となりました。これは主に、福祉用具の貸出しにより売上が増加したことによるものです。



その他事業

当事業につきましては、売上高7億50百万円（前年同期比514.4%増）となり、セグメント利益は1億46百万円（同956.6%増）となりました。これは主に、2022年10月より株式会社旅人の新規連結を開始したことによるものです。





TOPICS 1 ▶ 小牧ロジスティクスセンター（仮称）の建設を決定し、工事に着手しました

当社は、愛知県小牧市に「小牧ロジスティクスセンター（仮称）」の建設を決定し、工事に着手しました。

当施設は天井クレーンを設置し、重量物・鋼材保管なども含めた多様な品目に柔軟に対応できる設備を備えております。また中部エリアの基幹拠点として、関東・関西エリアへの広域配送ニーズにも対応できる施設です。当社ではお客様に最適で高品質な物流サービスを提供できるよう、更なるサービスレベルの向上を目指して設備投資等に取組んでまいります。

▶小牧ロジスティクスセンター（仮称）の概要

〈完成イメージ〉



〈現況〉



〈地図〉



建物名称	小牧ロジスティクスセンター（仮称）
所在地	愛知県小牧市小木南2丁目1-1 →名古屋高速道路「小牧南IC」約1km →名神高速道路「小牧IC」約4km
敷地面積	約16,563.96㎡
延床面積	約16,949.00㎡ (地上2階/倉庫部分2層、事務所)
竣工	2025年2月（予定）

TOPICS 2 ▶ 3PL物流サービス専門サイトを開設しました

この度、「3PL物流サービス専門サイト」を開設しました。

当サイトページでは、当社が提供する物流サービスの紹介や最新の物件情報を掲載しています。

物流サービスに関するお問合せや資料請求も可能となっており、随時、物件見学のご案内も行っていますので是非一度ご覧ください。

トップページ



コンテンツの一部



当サイトはこちらからご覧いただけます。

<https://higashi21-3pl.com/>



TOPICS 3 ▶ 2023年度上半期のCSRに関する取組みをご紹介します

当社グループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを「ひまわりプロジェクト」と名付け、子どもを軸とした様々な支援活動を行っています。

①NPOライツオン・チルドレン様へのPC寄付

NPO法人ライツオン・チルドレンは、社会からの支援を必要とする子どもたちのために活動する非営利団体です。この度PCの入れ替えに伴い、当社グループではパソコン32台を寄付いたしました。寄付により得られた資金は、児童福祉施設等で暮らす子どもたちへのPC寄贈やオンライン講習会などに使用されています。(PC寄付台数は累計で543台となりました。)



②「働きやすい職場認証制度」の二つ星認証を取得

「働きやすい職場認証制度」とは、自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省・厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。当社では、本社および本認証の対象となる全ての営業所で二つ星認証を取得いたしました。



③こどもミュージアムプロジェクト関連の取組み

一般社団法人こどもミュージアムプロジェクト協会が行っている「こどもミュージアムプロジェクト」は、子どもたちが描いた絵をトラックにラッピングすることにより、ドライバーや、それを見た周りの方に「やさしい気持ち」を広げることで交通事故の撲滅、危険運転ゼロに繋げようという活動です。当社グループではこの活動に共感し、取組に参画しています。

その一環として、グループ従業員やパートナー会社のお子様から「交通安全」に関する絵画を募集する「交通安全絵画コンテスト」を毎年行っており、入賞作品はラッピングトラックやお客様に配布するカレンダーに活用しています。本年度は114作品のご応募があり、下記作品が最優秀賞として選出されました。

幼児部門



低学年部門



高学年部門



また、プロジェクト啓発イベント「こどもミュージアムフェスタ (2023.9.10開催)」へ協賛企業として参加し、ラッピングトラックの展示協力やブース出店を行いました。当社ブースへの来場者は1千人を超えるなど、大盛況のイベントとなりました。



今後も持続可能な社会の実現に向け、CSRに関する取組みを通じて、更なる企業価値の向上に努めてまいります。



ひまわりプロジェクト

会社概要・株式の状況

会社概要 (2023年9月30日現在)

社名	株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立	1944年12月
本社	大阪市中央区内久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
東京本社	東京都港区新橋一丁目18番16号日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6455) 7021
資本金	10億円
主なグループ事業内容	サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業
従業員数	連結従業員数1,471名 (単体従業員数620名)
グループ会社	ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート21 株式会社トランスポート21 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社 山神運輸工業株式会社 株式会社旅人

役員 (2023年9月30日現在)

取締役

取締役	児島 一裕	社外取締役	江上 雅彦
取締役	山田 寛	社外取締役	樋口 真人
取締役	田口 宗勝	社外取締役	大西 由紀
取締役	原田 昌也	社外取締役	脇 陽子

執行役

代表執行役社長	児島 一裕*
常務執行役	山田 寛*
常務執行役	田口 宗勝*
常務執行役	原田 昌也*
上席執行役	外園 千尋
上席執行役	角野 公史

※は取締役を兼務しております。

執行役員 (2023年9月30日現在)

執行役員	吉原 永詞	執行役員	井上 和大	執行役員	日吉 晋介
執行役員	氏郷 敏章	執行役員	新井 慶景	執行役員	新村 誠司
執行役員	山川 圭洋	執行役員	窪田 一夫		

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式89,525株を除く。)	13,174,475株
株主数	4,829名

配当の状況

中間配当	行っておりません。
期末配当	1株34円 (予定)

*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	1,800	13.7
日本生命保険相互会社	1,040	7.9
星光ビル管理株式会社	938	7.1
株式会社毎日新聞社	700	5.3
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	625	4.8
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社西日本シティ銀行	520	3.9
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8
株式会社星和ビジネスリンク	227	1.7
金森滋美	201	1.5

(注) 持株数は、千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL https://www.e-higashi.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp> ヒガシ21 検索

公式SNSはじめました!



facebook



Instagram



ヒガシ21

ヒガシ21



当社は、2006年5月25日付で、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、9営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみにも与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トゥエンティワン

株式会社ヒガシ21